

台湾・TSMC社から「Environmental Excellence Award」を受賞

大日本スクリーン製造株式会社は12月2日、世界最大の半導体ファンドリー[※]のTSMC社(本社：台湾・新竹市/会長兼CEO：Dr. Morris Chang氏)から、2011年度「Environmental Excellence Award」を受賞しました。

表彰式の模様

右：TSMC社 上席副社長兼最高情報責任者
Dr. Stephen T. Tso氏

左：当社 代表取締役社長兼最高執行責任者
橋本 正博

☆ この画像の印刷用データ(解像度300dpi)は、
下記URLよりダウンロードできます。
(www.screen.co.jp/press/nr-photo_2009-2011.html)



近年の半導体業界では、さらなる微細化や回路の多層化に伴い高度な処理技術が必要とされる一方で、地球環境への配慮から、デバイス製造工程における環境負荷の低減が求められています。そのためTSMC社では、世界の半導体産業を支える最大手のファンドリーとして、環境に優しい製造技術を追求しており、サプライヤーである当社も最先端の半導体製造装置の提供などを通して、TSMC社の高いレベルの要求に答えてきました。

今回当社が受賞した「Environmental Excellence Award」は、TSMC社が開催しているサプライチェーンマネジメントフォーラムにおいて、材料や製造装置など数多くのサプライヤーの中から今年、環境配慮の面で同社の躍進に最も寄与したとされるサプライヤー1社のみ授与されるもので、二酸化炭素や水の使用量の削減、廃液のリサイクル、国際規制の遵守などの項目が審査されます。当社は枚葉式ウエハー洗浄装置「SU-3100」および「SU-3200」において、ウエハー洗浄工程における処理薬液の使用量を大幅に削減するとともに、処理時間を最適化。さらに洗浄用の純水のリサイクル率を高めるなど、環境負荷の低減と生産性の向上に大きく貢献したことが高く評価され、栄えある第1回の受賞となりました。

当社は今後も、半導体洗浄装置のリーディングカンパニーとして顧客と一層強固な関係を築き、台湾市場をはじめ世界規模での販売・サービスの積極的な展開を図り、業界の発展に貢献していきます。

※ ファンドリー(受託製造)

製造設備を持たない半導体開発企業から設計データを受け取り、その企業に代わり製造を専門に請け負う半導体メーカー。

■ TSMC社 上席副社長兼最高情報責任者 Dr. Stephen T. Tso氏のコメント

環境に優しい経営を行うことは、企業責任であり、もはや止めることのできない流れとなっています。大日本スクリーンは、TSMCが進めているグリーンサプライチェーンの確立にとっても重要な役割を果たしました。その取り組みによる貢献に対し、私たちの感謝の気持ちとして「Environmental Excellence Award」を授与します。

■ TSMC社 (Taiwan Semiconductor Manufacturing Company, Ltd. /台湾積体電路製造股份有限公司)

1987年設立。台湾・新竹市に本社を置く、世界最大の半導体専門ファブリーメーカー。2010年のウエハー生産能力は1,100万枚(8インチウエハー換算)を超え、売上高は世界の半導体専門ファブリー市場の約50%を占める。サプライチェーンマネジメントフォーラムとは、同社が有力なサプライヤーを集めて、年間の業況報告や今後の方針説明などを行う集会。このフォーラムの中で、優秀なサプライヤーに対する表彰式が開催される。

URL : www.tsmc.com